

第11期(令和5年度～6年度)

# 鹿角市行政評価市民会議

## 意見集

令和6年3月

◆第7次総合計画前期基本計画

取組方針	担当課	事業又は項目名	令和5年度				継続検討課題
			R5 委員の意見	既に取り組中であったもの	R6実施計画(7次総)に反映したもの	反映が困難なもの	
1 地域産業の成長を支援します	農業振興課	スマート農業推進事業	・ある程度面積がないとローンやAIの導入ができないため、小規模でも農家をやりたいという若手に対して使いやすい補助制度を検討してほしい。(R5第2回)	・国・県の支援と住み分けをしながら、市では比較的導入額の少ない機器を対象として進めている。	・既存の農業機械に後付けできる自動操舵システムを新たに補助対象機器に加え、農作業の省力化やコスト削減による担い手の経営規模拡大と農地の集積・集約化を進める。		
3 市内外から産業の担い手を確保します	産業活力課/政策企画課	外国人材活用支援事業	・会社で高いお金を払って特定技能の外国人を呼び込んでも、支援が行き届かず、都会に流れ出る事例があるため、手厚い支援が受けられるよう、市内に支援機関や管理団体の設置を検討してほしい。(R5第2回)		・外国人材の受入態勢を充実させるため、企業が行う外国人材向けの社宅整備について、空き家・中古物件の改修費用を新たに支援する。	・商工会において、労働福祉委員会で外国人受入れに関する検討を行っていることから、商工会の取組を支援しながら、外国人労働者雇用の企業ニーズを引き続き調査し、官民一体となった取組を検討する。	
4 妊産婦支援事業	すこやか子育て課	妊産婦支援事業	・妊娠・出産の際、鹿角市はとて子育てしやすい環境であると思うが、不妊治療に対する支援を拡充してほしい。(R5第2回)	・出産に至らなくても、不妊治療(特定・一般)不育症治療費の助成を行うことで、精神的・経済的負担の軽減を図っている。			
5 適切な医療を受けられる体制を整えます	福祉総務課	医師確保対策事業	・市内で産科を持つのは難しいのか。どのくらいの出生数があれば先生を置けるのかという目標値を定めて、そこに行き着くよう市役所と住民と一緒に全力で取組み、全体で考えていかなければいけない。(R5第2回)			・現在大館市に分娩機能が集約されているが、その維持も難しい状況であり、市内で出産可能な産科を持つことも非常にハードルが高いことから、現状維持に注力している状態である。 ・これまでの医師確保策や支援策を行いながら、引き続き医学生に対する修学資金支援を継続することで医師確保に繋げる。	
6 結婚の希望が叶うよう応援します	政策企画課	出会い応援事業	・独身の人たちが自分たちでイベントの企画や準備をすると、カップリング率も高まると言われていることから、間口を広げて、参加しやすい婚活を目指してほしい。(R5第2回)		・女性の参加者が少ないという課題解決のため、独身女性向け「女子力アップセミナー」を新たに開催することで、自分磨きで自信をつけ、婚活への意欲向上と独身女性参加者の獲得を目指す。	・参加しやすいイベントとなるよう、現行の補助制度を拡充できるかどうかも含め検討する。	

取組方針	担当課	事業又は項目名	令和5年度				継続検討課題
			R5 委員の意見	既に取り組中であったもの	R6実施計画(7次総)に反映したものの	反映が困難なもの	
7 地域ぐるみの子育て支援を充実します	すこやか子育て課	すこやか子育て支援事業/ファミリー・サポート・センター運営事業/放課後児童クラブ運営事業など	「鹿角市は子育てが充実している」という程度ではなく、「鹿角市しかそれが無い」というくらいの魅力がないと鹿角市に人が移ってこない。鹿角市にしかない子育て支援策があったら面白いと思う。(R5第1回)	・一時的な経済支援だけではなく、保育料無償化のほか、ファミリー・サポート・センター事業や児童クラブ運営など、子どもの成長段階に応じて、その都度親の子育てニーズを捉えたサービスの充実を図っている。	・所得制限により多子世帯軽減の適用外となっている世帯についても、市の独自支援として保育料の完全無償化を図るほか、3歳以上児に対する主食を無償提供し、子育て支援の充実・強化を図る。 また、「こども家庭センター」を設置し、妊産婦や子育て世帯の一体的な相談支援を行う。		
		ファミリー・サポート・センター運営事業	・ファミリー・サポート・センターの受講者登録数について、受講者7名のうち登録は1名だが、なぜか。賃金が安い理由から私も登録しなかった経緯がある。(R5第2回)	・様々なニーズに対応できるよう体制強化を図るため、R5年度より報酬額を改定し新規登録の会員勧奨につなげている。			
8 高齢者のいきいきとした暮らしを支援します	あんしん長寿課	介護人材確保推進事業	・高齢社会となり、介護施設や老人ホーム等の施設のマンパワーが足りないこと、賃金が低いので働き手がいなことが問題である。そのフォローも産業の一つになるし、産業のみならず福祉の問題でもある。(R5第1回)		・中高生向けに実施している介護人材育成セミナーを小学生へも拡充することで、より早い段階から介護職について理解・関心を深めてもらい、介護人材の確保を目指す。 また、マンパワー確保策として、外国人材活用支援事業とも連携していく。	・人手不足業種の人材確保と移住・定住の促進を図る支援を検討する。	
13 ごみの適正処理と資源リサイクルを進めます	生活環境課/広域行政組合事務局	資源リサイクル等推進事業	・ごみ出しの際にごみの分別が徹底されておらず、ごみ処理場の方たちが集まったごみをさらに分別している状況である。小学生が学校でリサイクルの勉強をしており、それを家庭でも簡単に分かるように広めてもいいのではないかと。(R5第1回)		・鹿角市快適環境まちづくり市民会議において、リサイクルを題材とした環境講座を実施する。 また、市民の利便性の向上を目的に、新たに宅配便を活用した小型家電回収に取り組む。	・全国的にリチウムイオン電池による火災の事例があることから、収集や処理に関する協議を継続していく。 ・意識醸成を図るため、市民一人ひとりができる3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取組を広報等を活用し発信する。	
14 緑と水の映えるまちの環境を守ります	農地林務課	森林環境保全直接支援事業	・森林皆伐後の再造林割合が目標値に対して既に倍以上の結果が出ている等、目標値を見直すべきではないかと。(R5第2回)			・伐採届の皆伐面積に対して再造林の面積が多かったことから目標値を上回り再造林が進んでいる。次年度より、第7次総合計画後期計画の策定作業が始まるので、その中で、森林経営計画を踏まえて見直しを検討していく。	

取組方針	担当課	事業又は項目名	令和5年度				継続検討課題	
			R5 委員の意見	既に取り組中であったもの	R6実施計画(7次総)に反映したもの	反映が困難なもの		
18	防犯や交通安全を進めます	生活環境課	交通安全対策推進事業	・毛馬内住宅ができてからユニバーサルに横断歩道ではない道路を横断する人が増えた。事故に結び付く可能性が高いため、強く呼びかけてほしい。(R5第2回)				・自治会を通じて申し入れるほか、交通安全への意識高揚が図られるよう取り組んでいく。
19	子どもから青少年までの生きる力を育みます	総務学事課/生涯学習課	ICT活用教育事業	・家庭によってはタブレットが1台追加されることでルーターが追いつかないという事案が出てくると思うが、ルーターの貸し出しは検討していないのか。(R5第2回)	・経済的理由により学力格差が生じないよう、就学援助費の中でオンライン学習関連費を支援している。			・今後家庭での学習用端末の活用が増加することが想定される。
20	地域の特色のある教育活動を実施します	総務学事課/生涯学習課	家庭・地域社会・学校の連携強化	・部活動が始まった小学校高学年、中学生あたりの子を持つ親は、週末の度に大会があり、お金の面とその忙しさで子ども一人でも大変だという声が出ている。学校の先生の負担を減らすことは大事だが、だからといって親に負担が来ると第2子、3子を諦めることも十分にあり得る。親に対しても支援できる場所があれば、親の気持ちに余裕ができるのではないか。(R5第1回)		・学校(部活動)と団体、スポーツ協会、市との間で様々な調整を行うほか、それぞれの意見を聞きながら、スムーズな地域移行が進むようアドバイスする「部活動地域移行コーディネーター」を新たに配置する。また、モデル団体による地域移行実証に取組み、課題等を検証する。		・部活動地域移行検討委員会を設置し、今年度は4回の会議を行い、運営主体のあり方や、課題整理を行う。子どもたちにとって望ましい活動環境を整えられるよう検討を重ねる。
21	自ら学び行動する社会人を支援します	生涯学習課	かづの人財発掘事業	・子育て世代の女性議員がいると、また目線が違うと思う。女性による模擬議会をぜひ行った方がよい。(R5第1回)	・子育て世代の意見を交わす場として、「鹿角の未来創造わけもの塾」の取組を継続していく中で機会を創出し、人材育成に取り組む。			

取組方針	担当課	事業又は項目名	令和5年度				継続検討課題
			R5 委員の意見	既に取り組中であったもの	R6実施計画(7次総)に反映したもの	反映が困難なもの	
26 次世代産業の創出に取り組めます	産業活力課	起業・創業支援事業	・湯沢市はゆざわ-Bizという起業支援や経営の相談を行っている組織があるが、起業前のシミュレーションや事業計画等作成のサポートをする組織があるといい。(R5年第2回)	・県のよろず支援拠点のコーディネーターが月1回、まちなかオフィスで相談を受け付けており、事業計画作成等の支援をしている。			
		事業承継支援事業	・コロナがある程度落ち着いた状況であるが、飲食店や代行等への支援を引き続き行ってほしい。(R5第2回)	・事業承継を終えた事業者の紹介動画の作成と、よろず支援拠点等の支援機関との連携により、市内経営者の高齢化と後継者不在による廃業の抑制に取り組んでいる。	・民間マッチングサイトを活用したオープンな事業承継マッチングを紹介することで、起業や創業を求める移住者の呼び込みへと繋げる。		
30 未来技術の導入を進めます	総務課	行政手続等デジタル化推進事業	・今後、行政評価市民会議のデジタル化は行われるのか。(R5第1回)				・利便性や効率性を勘案しながら、デジタル化への検討を進める。